



仲間と共に

学校目標 「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和6年11月29日

ふるさと三輪南大好き ～受け継がれていく”ふるさと”の思い～

校長 石田耕太郎

「ふるさと三輪南の良さを子どもたちやこの地で生活する皆さんに知って欲しい」全ては、この願いから始まった「ふるさとウォークラリー。」令和3年度に第1回目が行われ、その後新型コロナウイルス感染症の蔓延による中断を経て、先日11月16日(土)に第2回目を開催することができました。

全校児童524名を「なかよしグループ(縦割り集団)」54チームに分け、4つのコースに分かれて、各コースにある6つのポイントを巡ることにしました。その際、最も配慮しなければならないことは、「各グループが移動する時の安全確保、全23ポイントの運営」に人員を配置することでした。そこで、保護者や地域の方たちに協力を依頼したところ120名以上の方々の協力を得ることができ、安全確保とポイントの運営を確実に行うことができました。そして、当日は天候にも恵まれ、以下の児童の感想にあるとおり、ふるさと三輪南の良さを実感することができました。

- ・今回の三輪南ふるさとウォークラリーで「三輪には、こんな所があったんだ」と新しい発見がありました。このウォークラリーを支えてくださった方には、本当に感謝しています。この思い出をきっかけに三輪のふるさとが大好きになりました。三輪の魅力について触れることができ良かったです。
- ・地域の方々が明るく「行ってらっしゃーい!」「おはよー!」と言ってくれたので心が温かくなりました。こうやってできる機会が少ないと思うので、またやりたいです。
- ・私は今回のウォークラリーで、自分は三輪のことをそんなに知らないんだなと感じました。また、家の周りや学校の周りを散歩して、もっとどんなところがあるのかとかを知ってみたいと思いました。
- ・ふるさとウォークラリーをして三輪南にはいい所がたくさんありました。また、来年もやりたいと思いました。
- ・三輪南のことをたくさん知ることができました。もっと三輪南のことを詳しく知ってみたいです。
- ・山県用水が作られたのは鎌倉時代だと知って、昔からある施設が三輪南にあるなんて三輪南が誇らしく思った。
- ・小さい頃にも行ったことがある所もあって懐かしいなあと思いました。また、ふるさと三輪南ウォークをやりたいです。
- ・今回は東コースだったけれど、西や北コースなど違うコースへ家族で散歩しながらふるさと三輪南のことを知っていきたいと思いました。



ふるさと三輪南に息づくふるさとに誇りをもつ気持ち。この気持ちは、確かに子どもたちや地域の人々に受け継がれています。最後になりましたが、ふるさとウォークラリーにご支援、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。